

都市再生整備計画 事後評価シート
有度山総合公園周辺地区

平成24年 3月

静岡県静岡市

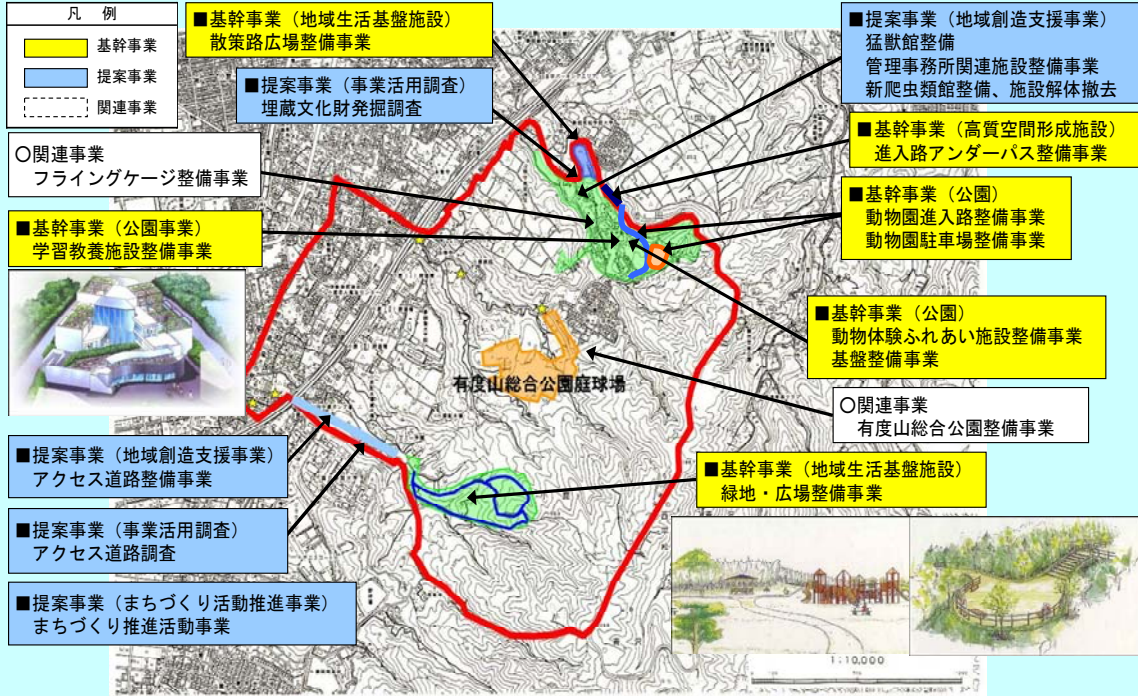
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	静岡市		地区名	有度山総合公園周辺地区			面積	312ha		
交付期間	平成19～23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	4,934.4百万円		国費率	0.29			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【公園】学習教養施設整備事業、動物体験ふれあい施設整備事業、基盤整備事業 【地域生活基盤施設】散策路広場整備事業										
		提案事業	【地域創造支援事業】猛獣館整備事業、管理事務所関連施設整備事業、新爬虫類館整備事業、施設解体撤去、アクセス道路整備事業 【事業活用調査】埋蔵文化財発掘調査、アクセス道路調査 【まちづくり活動推進事業】まちづくり推進活動事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	—		—			—			—		
		提案事業	—		—			—			—		
	新たに追加した事業	基幹事業	【公園】動物園駐車場整備事業、動物園進入路整備事業 【地域生活基盤施設】緑地・広場整備事業、情報板設置事業 【高質空間形成施設】進入路アンダーパス整備事業		動物園駐車場整備事業、動物園進入路整備事業、進入路アンダーパス整備事業：駐車場の収容台数不足による周辺道路の渋滞解消を図るため追加。 緑地・広場整備事業、情報板設置事業：豊かな自然環境を保全しながら、市民に親しまれる空間を創出するため追加。			—			・指標5「動物園へのアクセスに対する満足度」に寄与するが、モニタリングにより本事業の追加と同時に指標が設定されているため、影響なし。 ・指標1「余暇活動に対する満足度」に寄与するが、目標値については据え置く。		
		提案事業	—		—			—			—		
交付期間の変更	当初	平成19～23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—			—			
	変更	—		—			—			—			
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)		予定時期	
	指標1	余暇活動に対する満足度	%	20.6	H18	32.3	H23	26.9	33.4	○	ありなし	動物園の展示施設のリニューアル等によって地区の魅力が向上している。	平成24年7月
	指標2	日本平動物園の来客者数	人/年	473,019	H17	520,000	H23	510,331	619,000	○	ありなし	展示施設のリニューアルや休憩施設等のアメニティの向上、イベント等のソフト面での改善により、来客者の大幅な増加に繋がった。	平成24年7月
	指標3	日本平動物園の来客者満足度	%	28.7	H18	36.3	H23	33.3	37.0	○	ありなし	比較展示型施設やふれあい体験施設の整備等と共に、ボランティアによるガイドの拡充等ハード・ソフト両面の改善によって、満足度の向上につながった。	平成24年7月
	指標4	老朽化した施設の耐震化率	%	50.0	H18	90.0	H23	80.0	100.0	○	ありなし	施設のリニューアルと合わせて耐震化が進んだことで、東海地震に耐えられる基準以上の施設となった。	平成24年7月
指標5	動物園へのアクセスに対する満足度	%	28.7	H21	40.3	H23	—	43.5	○	ありなし	計測時点では、駐車場の一部のみ完成していたが、渋滞緩和に繋がりと、満足度が向上した。	平成24年7月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)		予定時期	
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・日本平動物園の展示施設のリニューアルによって、同種の動物の生態や生息地の比較、動物の行動等が楽しみやすくなり、来客者の満足度の向上に繋がっている。 ・日本平動物園の展示施設のリニューアルや、憩い・休憩出来る空間として芝生広場や四阿、ベンチ等が整備されたことにより、来客者の満足度が向上し、滞在時間の増加に繋がっている。 ・展示施設のリニューアルによって日本平動物園への関心が高まり、日本平動物園ガイドボランティアへの登録が増えている。また、施設のリニューアルによって活動の場が増えたことや、ガイドのしやすさが向上したことで、登録人数の増加と併せてボランティア活動の内容の拡充や活動日数が増加しており、ソフト面からの動物園のサービス向上が図られている。 ・都市再生整備計画事業の主目及び緑地・広場整備事業の概要などについて説明会を実施したことにより、住民のまちづくりに対する理解が深まった。・市役所内における横断的な事業検討体制により、活発な議論が展開された。 												
	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
5) 実施過程の評価	モニタリング	平成21年度 指標の達成状況の計測と庁内組織による検討		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 他地区の都市再生整備計画においても適宜モニタリングを実施していく。					
	住民参加プロセス	①平成19～20年度 池田日本平線周辺道路渋滞対策検討会 ②平成21年度 動物園進入路の検討会		都市再生整備計画に記載し、実施できた				● ①②事業実施による渋滞緩和効果について検証を行い、検討会メンバーへの報告を行うと共にメンバーとの関係を維持していく。					
		③平成22年度 日本平動物園ガイドボランティアによる新施設のPR ④平成20～23年度 緑地・広場整備事業に関する説明会		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ③今後も動物園やボランティア活動について、ボランティアと連携してPRを行っていき、より良い施設運営ができるように努めていく。 ④今後も住民に対する説明会を随時開催することで、事業への理解を深めていくと共に頂いた意見を事業に適切に反映していく。					
	持続的なまちづくり体制の構築	①日本平動物園運営委員会の運営支援 ②日本平動物園ガイドボランティアの運営支援		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ①②今後も委員会やボランティア活動が継続して行えるように支援を行い、有識者や市民との協働によって、動物園の魅力を高めるための方策の検討や活動を実施していく。					

様式2-2 地区の概要

有度山総合公園周辺地区(静岡県静岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	目標値	従前値	目標値	評価値	評価値
豊かな自然環境を保全しながら、市民に親しまれる空間の創出及び動物とのふれあい、生命の大切さを認識することのできる場の創出。 ・市民の生活を豊かにする余暇活動や学習・文化・レクリエーション活動の拠点として、また環境教育活動の拠点として整備を進める。 ・動物や環境について学べる学習教養施設の整備を進める。 ・東海地震に対する老朽化した施設の耐震対策整備を進める。 ・渋滞解消や地域住民の迷惑解消を目的とした交通円滑化の整備を進める。	余暇活動に対する満足度	単位：%	20.6	H18	32.3	H23	33.4	H23
	日本平動物園の来客者数	単位：人/年	473,019	H17	520,000	H23	619,000	H23
	日本平動物園の来客者満足度	単位：%	28.7	H18	36.3	H23	37.0	H23
	老朽化した施設の耐震化率	単位：%	50.0	H18	90.0	H23	100.0	H23
	動物園へのアクセスに対する満足度	単位：%	28.7	H21	40.3	H23	43.5	H23



まちの課題の変化	(達成されたこと)	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地・広場整備事業によって、市民が有度山の豊かな自然の中で休息や自然観察、ハイキング等が出来る公園が整備された。 ・猛獣館、新爬虫類館等の展示施設の整備によって満足度が向上し、日本平動物園への来客者数の増加に繋がっている。 ・ふれあい体験施設等の整備により、日本平動物園における動物とのふれあい、生命の大切さを認識できる場としての機能が強化された。 ・トイレや休憩施設、広場、進入路の整備等により、日本平動物園への来客者の快適性が向上した。 ・日本平動物園の施設のリニューアルと合わせて耐震化を進めたことで、東海地震に耐えられると判断される基準以上の施設が増加した。 ・新たな駐車場と進入路の整備によって、日本平動物園への来客者による渋滞が緩和された。
	(未解決の課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本平動物園において、新施設の整備に伴い閉館した施設の有効活用や、古くなった施設の整備・改修を行っていく必要がある。 ・周辺観光施設や周辺教育施設と連携した取り組みや、周遊観光を促す仕組み等が希薄である。 ・日本平動物園内にまだ耐震化が行われていない施設があるため、引き続き整備を行っていく必要がある。
	(新たに発生した課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本平動物園の来客者数がピークとなるゴールデンウィークに事業効果の把握を行えていないため、継続的に渋滞発生状況の確認を行い、必要に応じて改善方策の検討を行う必要がある。 ・日本平動物園の展示施設のリニューアルや散策路広場の整備によって満足度が向上したことで、来客者の滞在時間が伸びて駐車場の稼働回転が遅くなったことに加え、来客者数が増加したことで、渋滞解消に向けたさらなる改善が必要になる可能性がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・整備した公園や道路等について、適切な管理を行うように努め、管理にあたっては、住民や来客者等との連携や協力を促す。 ・日本平動物園において、ガイドやイベントを開催する日本平動物園ガイドボランティアの活動支援や連携を強化することで、ソフト面からの利用満足度を高め、リピーターの増加や新規の利用を促進する。 ・日本平動物園再整備事業を継続して実施することで、より魅力的な動物園となるように努める。また、施設のリニューアルに合わせて耐震化を進めることで、東海地震に対する備えを行う。 ・日本平動物園へのアクセスとして、シャトルバスの運行やPRを継続して行うことで、公共交通の利用促進を図り、渋滞解消に向けた取り組みを引き続き行う。また、ゴールデンウィークに渋滞長等の計測を行うことで、ピーク時の渋滞の発生状況を確認し、必要に応じてさらなる改善方策の検討を行う。検討にあたっては、池田日本平線周道路渋滞対策検討会を再結成するため、メンバーとの関係を維持する。 ・日本平公園、久能山東照宮等の周辺観光施設や静岡大学等の周辺の教育施設との連携強化により、地域全体の魅力の発信や新たな活動の実施を行い、来客者の誘致や地域の魅力向上に努める。 ・緑地・広場整備事業の整備後の利用実態の把握を行い、必要に応じて利用促進を図るための方策を検討する。 ・有度山総合公園において、PRの強化等を行うことで、施設の利用促進を図る。
---------------------	--